

がんばろう岩手！応援・支援盛んに

被災地へささげる祈りの舞

市内の鬼剣舞12団体で構成される北上鬼剣舞連合会は4月29日、展勝地から被災地に向けて剣舞作法による祈りの舞をささげました。震災犠牲者への供養や被災者への見舞い、救援活動に励む人々への感謝の意を込めて、供養の儀式と舞を奉納。震災から四十九日に当たるこの日、桜も徐々に咲き始め、180人の踊り手が復興への願いを踊りに託しました。

祈りの舞の後、会員らは募金活動を行い、見物客から被災地への義援金が集められました。



群舞
桜並木の下で披露された祈りの鬼剣舞



出迎えた伊藤前市長(右下)と共に記念撮影をする沿岸被災地の皆さん

沿岸へ復興応援バスを運行

市では、沿岸被災地の皆さんに元気になってもらいたいと4月25日～30日の6日間、復興応援バス「北上展勝地さくら号」を無料運行しました。運行先は釜石市、大船渡市、陸前高田市。計741人が応援バスで北上市を訪れ、お茶などのおもてなしや展勝地の桜、夏油の温泉を楽しみました。

釜石市から参加した吉田実さんは「すばらしい桜。避難所生活が続いているため気分転換になる」と、憩いのひとときを過ごしていました。

被災者と援助者のセルフケア

東日本大震災「被災者と援助者のためのセルフケア」ワークショップは1日、水神温泉山照園で開催されました。講師は神戸市ナチュラル診療内科クリニック院長・竹林直紀氏。震災によるさまざまなストレスから心と体を守るため、自律神経のバランスを整える大切さを、実演を交えて講演しました。

竹林氏は「心と体はつながっている。今この瞬間に意識を向けることを自分のペースでやっていけば、必ず前に進んでいける」と伝えていました。



て
心と
体の
落ち
着き
を確
認す
る参
加者
頭
や肩
を軽
く触
れる
よう
にた
たき
合っ

お花見・バーベキュー昼食会

市内への一時避難者を招待した、お花見を兼ねたバーベキュー昼食会は4月30日、ふるさと体験館「北上」で行われました。

北上市ペタンク協会の主催により、避難者に心の安らぎを得てもらおうと開催。笠井政雄会長は「バーベキューを囲んで語り合しましょう」とあいさつし、避難所施設の職員も協力してバーベキューやアラ汁、デザートを振る舞いました。参加者は食事と交流を楽しんでいました。



温かい食事を囲み、花見と交流を楽しむ参加者の皆さん

秘湯の発展と安全を祈願 晴天の下で夏油温泉開き

夏油温泉開きは18日、新緑がまぶしい夏油温泉園地で行われました。神事で高橋市長は「多くの来館を願い、皆さんと一緒に盛り上げていきたい」とあいさつ。午後から講演会が開催され、講師の本田麻由美読売新聞東京本社記者は「温泉と健康」について講話しました。

温泉開きでは、今年初めて一般参加者を募集。小浜京子さん(村崎野)と小原史賀子さん(同)は「いいお湯だった。山や川が見え、情緒がある」と満喫していました。

桜と若葉に囲まれ行われた神事。和賀大乗神楽が奉納された



高橋消防長と握手を交わす山崎釜石大槌地区消防本部消防長(中央)

北上の応援部隊に感謝 被災地へ消防隊員派遣

北上地区消防隊員による釜石・大槌地区での応援活動に対し4月27日、釜石大槌地区の消防長らが北上地区消防本部を訪問し、感謝の意を伝えました。北上地区からの応援期間は地震当日から4月30日まで。延べ46隊137人が救急搬送業務に当たりました。

山崎義勝釜石大槌地区消防長は「おかげさまで自力で対応できるようになった。感謝という言葉の重みを感じた」と、これまでの支援に深謝。差し入れを持って駆け付けた隊員たちに感銘を受けたそうです。

百歳おめでとうございます

小田島ツナさん(和賀町仙人)



小田島ツナさんが百歳を迎えられ9日、高橋市長が自宅を訪問し祝い状と記念品を手渡しました。小田島さんは明治44年5月4日生まれ。故豊松さんとの間に子ども10人をもうけ、孫12人、ひ孫20人に恵まれています。何事にも頑張り屋だったという小田島さん。今でも洗濯を自分でこなすそうです。子ども7人がお祝いに駆け付けると「みんなに祝ってもらい、いい気持ち」とうれしそうに話していました。

照井ハルさんが百歳を迎えられ11日、入所する特別養護老人ホーム敬愛園で祝いの集いが開かれました。照井さんは明治44年5月10日、旧沢内村生まれ。故春治さんとの間に子ども6人をもうけ、孫13人、ひ孫16人に恵まれています。山菜採りの名人で、秋田で子守奉公や山菜売りをしてきた照井さんは、今でも「おぼこ」(東北地方で少女や娘の意)と呼ばれ親しまれています。

照井ハルさん(大堤西)



齋藤ワカさん(大通り)



齋藤ワカさんが百歳を迎えられ11日、市内ホテルで祝う会が開かれました。齋藤さんは明治44年5月11日生まれ。故勝蔵さんとの間に子ども7人をもうけ、孫11人、ひ孫6人に恵まれています。集まった家族や親せきからお祝いを受け、齋藤さんは「おもしろい。昔から一生懸命働いてきたことが元気の秘けつ」と笑顔を見せていました。コーヒーが好きで、朝と昼に一杯ずつ飲むことを楽しみにしているそうです。